

環境理工学群の専攻の改編について (令和5年度入学生から)

高知工科大学

令和5年度入学生から、環境理工学群の専攻を次のとおり改編します。詳細につきましては、開催・発刊を予定しております大学説明会や大学案内等で説明させていただきます。

1 改編内容

～令和4年度入学生		令和5年度入学生～
環境数理専攻	➔	応用物理専攻
化学専攻		機能化学専攻
生命科学専攻		生命情報専攻
マテリアル工学専攻		

2 改編理由

環境理工学群は、融合化・学際化が目覚ましく進む理工学において、これまで物理、化学、生物等の基礎に重点をおきつつ、これらを幅広く学修させ、分野の枠にとらわれない知識や応用の修得を目指してきました。一方で、社会的課題はますます複雑化し、分野に跨る教育・研究の重要性が増しています。そこで、さらなる応用知識の修得、他分野との融合・連携に繋がる思考の醸成等を目指し、専攻を改編します。「マテリアル工学専攻」は基礎学理から応用までを取り扱う「応用物理専攻」に、「化学専攻」はより実践的な教育内容である「機能化学専攻」に、「生命科学専攻」はゲノム解析に代表される生命情報を取り込んだ「生命情報専攻」に改編し、「環境数理専攻」は発展的に解消し、その教育内容を「応用物理専攻」、「機能化学専攻」、「生命情報専攻」に振り分けます。

3 新しい専攻の概要

専攻名	概要
応用物理専攻	物理学を基礎に、材料科学、デバイス工学、シミュレーション物理などの応用物理学を学びます。幅広い融合分野への物理学的素養に立脚した展開力を身に付け、製造業を中心とした様々な業界の企画開発、製造、技術営業部門などでの活躍が期待されます。
機能化学専攻	有機化学、無機化学、物理化学、高分子化学など化学分野の基礎科目をベースに、新規な機能性材料の開発やその基礎原理の解明に必要な知識を学びます。化学分野を超えて物理・生命科学分野などの他分野にも跨った最先端の研究・開発を実践できる人材を目指します。化学業界に限定されず、様々な物質・材料を扱う企業・研究所などの研究者・技術者として、幅広い分野で活躍できる理工系人材を輩出します。
生命情報専攻	複雑な生物システムは、生命が持つ情報が基盤となっています。生命情報専攻では、生命現象のさまざまな階層や局面で機能する生命情報のしくみとそれを読み解くための技術を学び、社会の持続可能な発展に貢献できる広い視野をもった人材の育成をめざします。

以 上